



JAPAN HERITAGE

日本遺産

1400年に渡る
悠久の歴史を伝える

「最古の国道」

～竹内街道・横大路(大道)～

竹内街道・横大路(大道)は推古天皇21年(613)に外交の玄関口である難波津と政治の中心である飛鳥の宮をむすぶ「大道(だいどう)」として整備された、わが国最古の国道である。

我々の祖先は、古代、中国や朝鮮半島と交流するために、中世には経済の道として、近世には伊勢参りに、この道を通った。現在に至るまで1400年もの間、この街道は人も物もつないてきたのである。



日本遺産とは



JAPAN HERITAGE

日本遺産

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの。ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ることを目的とする。「1400年に渡る悠久の歴史を伝える「日本最古の国道」～竹内街道・横大路(大道)～」は、2017年に44番目の日本遺産として認定された。



古代の道からまちづくり



■竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会
構成団体

大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・

奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村